

研究機関：広島大学

研究課題名	内科系医療技術負荷度調査
研究責任者名	広島大学病院血液内科 教授 一戸辰夫
研究期間	2019年8月21日（倫理委員会承認後）～ 2021年3月31日
対象者	2018年4月から2018年9月の間に、広島大学病院血液内科に入院されていた患者。
意義・目的	<p>外科系技術は診療にかかる時間や医師の経験年数を根拠として技術評価がされていますが、内科系診療には診療にかかる時間を測定しにくい、診療の対象となる病気の範囲が広いなどの特徴があり、外科系とは異なるアプローチが必要です。</p> <p>今回、内科系診療にかかる医師の負荷を調べるためにこの研究を計画しました。</p>

方法

本研究は、DPC 情報を調査して行います。DPC とは入院期間中に「傷病名」と、手術、化学療法などの「診療行為」の組み合わせによる患者さんの分類を指します。研究に用いるデータは「入退院年月日」「入院の目的」「病名」「身長・体重」「医療点数による出来高情報」「診療報酬情報」です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

取得したデータをもとに当時の主治医に対しアンケート調査を行い、これらを合わせて分析し、内科系診療における医師の状況を把握します。

共同研究機関

内科系医療技術負荷度調査委員会（順天堂大学医学部附属順天堂医院 ほか）
調査委員会に情報を集め、調査委員会（研究責任者 高橋和久）が解析します。

試料・情報の管理責任者

広島大学病院血液内科 教授 一戸辰夫

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。個人情報は含まない臨床データを内科系医療技術負荷度調査委員会へ提供し、特定の関係者以外がアクセスできないようにして利用します。臨床データと患者個人を紐づける対応表は当院のみが保管・管理し、内科系医療技術負荷度調査委員会ではこれを一切閲覧・所持しません。個人が特定される形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5861

広島大学病院血液内科 教授 一戸辰夫